

氏名	中野秀治		
学位の種類	医学博士		
学位授与番号	博乙第1915号		
学位授与の日付	昭和63年6月30日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）		
学位論文題目	肺切除術術前心肺機能評価としての運動負荷試験 —特に術後合併症発生群と非発生群の比較—		
論文審査委員	教授 折田薫三	教授 木村郁郎	教授 中山 沃

学位論文内容の要旨

肺切除術予定患者に対して、従来行なわれている検査に加えて、自転車エルゴメーターによる運動負荷試験を行い、術前的心肺機能の評価及び、各種のパラメーターと術後心肺合併症発生との関連を検討した。

40例の対象のうち9例が術後心肺合併症を有した。

測定項目として、運動負荷中の VO_2 、 VCO_2 、 VE 等の呼気ガス分析と、運動負荷前後の血液ガス及び乳酸値の変動を測定した。

その結果、合併症発生群と非発生群の間で顕著な差が認められたパラメーターとして、 VO_2 max 値と VO_2 max / 体重値があげられ、 VO_2 max 値 1100 ml/min 及び VO_2 max / 体重値 20 ml/min/kg を境として、それ未満の値を示す患者は、術後心肺合併症を来す危険性が高いものと考えられた。

論文審査の結果の要旨

肺切除施行においては術前的心肺機能の評価が極めて重要である。本研究者は自転車エルゴメーターによる運動負荷試験時の種々の心肺機能の評価と術後の心肺合併症の有無との関連を検討している。本法による術前運動負荷時の、従来用いられてきた PaO_2 、 PCO_2 にはあまり意義がなく、 VO_2 max 値 1100 ml/min および VO_2 max / 体重値 20 ml/min/kg 未満の値を示した患者では、術後合併症の高いことから、これら2つが重要な評価値となることを明らかにした。临床上、極めて価値の高い知見であり、学位を得るに十分であると認める。